

Section

17

第3章 クリップの基本編集と切り替え効果

クリップをタイムラインに追加する

覚えておきたいキーワード

タイムライン
時間インジケータ
トラック

Premiere Elementsでは、プロジェクトに読み込んだ各種クリップを、タイムラインに配置することで編集作業を進めていきます。ここでは、クリップをタイムラインに配置・削除する方法について解説します。

1 クリップをタイムラインに追加する

1 クリップを追加する

<プロジェクトのアセット>パネルで、タイムラインに配置したいクリップを右クリックし (①)、<タイムラインに挿入>をクリックします (②)。

Hint ドラッグでも追加できる

<プロジェクトのアセット>パネルで、クリップをタイムライン上にドラッグすることでも配置できます。



2 クリップが追加された

時間インジケータの位置を先頭として、クリップがタイムラインの<ビデオ1>トラック (オーディオクリップの場合は<オーディオ1>トラックのみ) に追加されました (①)。

Hint クリップに重ねて配置すると?

すでにタイムラインに配置されているクリップ上に重ねてドラッグすると、元々配置されていたクリップが分割されます。



2 追加したクリップを削除する

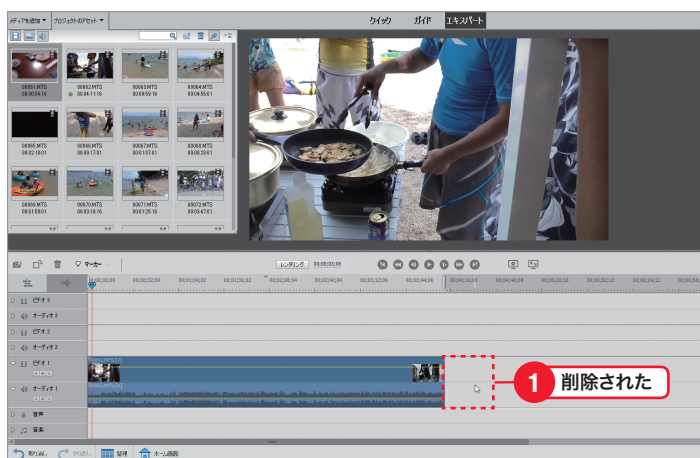
1 クリップを削除する

タイムライン上の、削除したいクリップをクリックして **Delete** を押します (1)。



2 クリップが削除された

クリップが削除されました (1)。

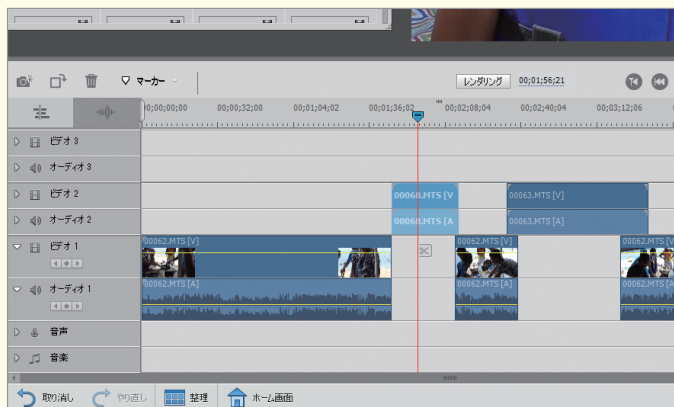


Memo 削除されるのは タイムライン上だけ

削除されたクリップはタイムライン上からはなくなりますが、＜プロジェクトのセット＞パネルからはなりません。

Memo <ビデオ1>や <ビデオ2>の違いは？

タイムラインには、動画用とオーディオ用に3つずつ、また、音声（ナレーション）用と音楽（BGM）用にそれぞれ1つずつ、トラックが用意されています。動画の上に別の動画を重ねたり、一時的にはほかの動画に切り替える場合にトラックを分けて使用します。トラックは必要に応じて追加することができます。トラックを追加する方法についてはP.55を参照してください。



第3章

クリップの基本編集と切り替え効果

追加したクリップを再生する

覚えておきたいキーワード

プレビューウィンドウ

時間インジケーター

再生コントロール

タイムラインに追加したクリップを再生するには、プレビューウィンドウを使用します。プレビューウィンドウでは、大きなサイズでタイムライン上の動画を確認することができます。

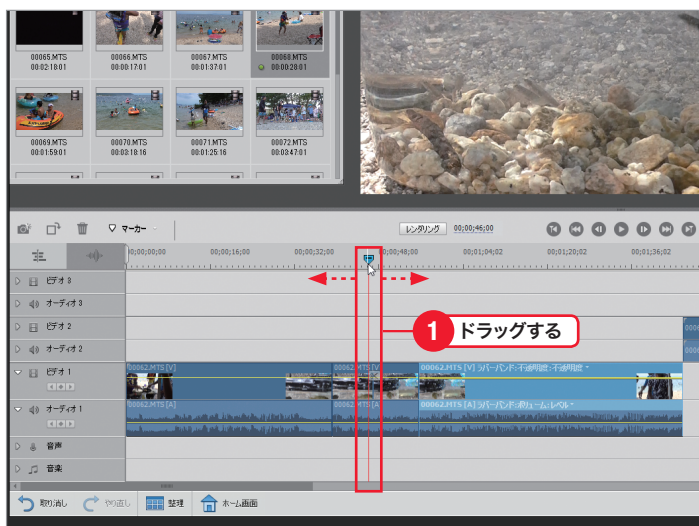
1 ドラッグして再生する

1 時間インジケーターをドラッグする

タイムライン上の時間インジケーターを左右にドラッグすると (1)、クリップを手動で再生できます。右側にドラッグで早送り、左側にドラッグで巻き戻しとなります。

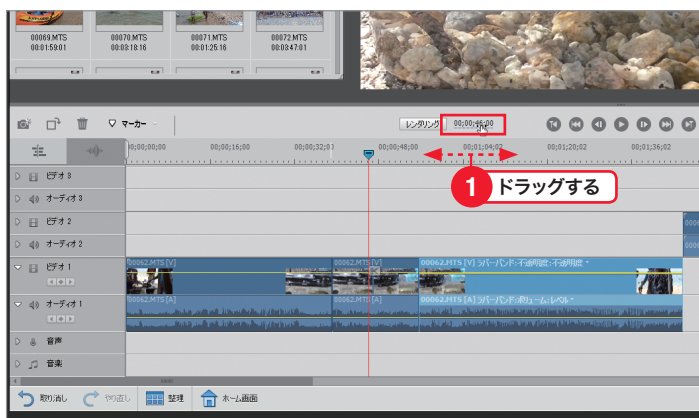
Hint 滑らかに再生するには？

時間インジケーターをドラッグして再生すると、1フレームずつの再生ではなく、いくつかのフレームが飛ばされて表示される場合があります。その場合は、タイムラインの時間軸を拡大しましょう (P.56 参照)。



2 タイムコードをドラッグする

タイムライン上部のタイムコード上を左右にドラッグすると (1)、1フレームずつの滑らかな再生になります。



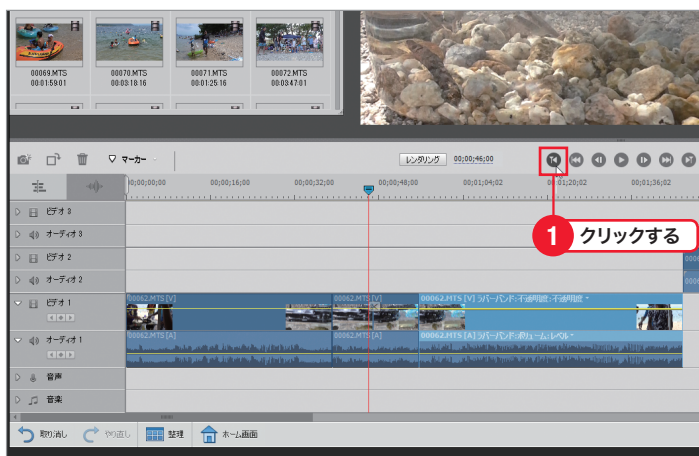
2 クリップを先頭から再生する

1 クリップの先頭を表示する

＜前の編集ポイントへ移動＞をクリックすると(1)、時間インジケーターがクリップの先頭（前の編集ポイント）に移動します。

Keyword 編集ポイント

編集ポイントとは、タイムライン上のクリップの開始部分と終了部分を指します。複数のクリップが配置されている場合は、編集ポイントごとに移動することで効率よく作業できます。

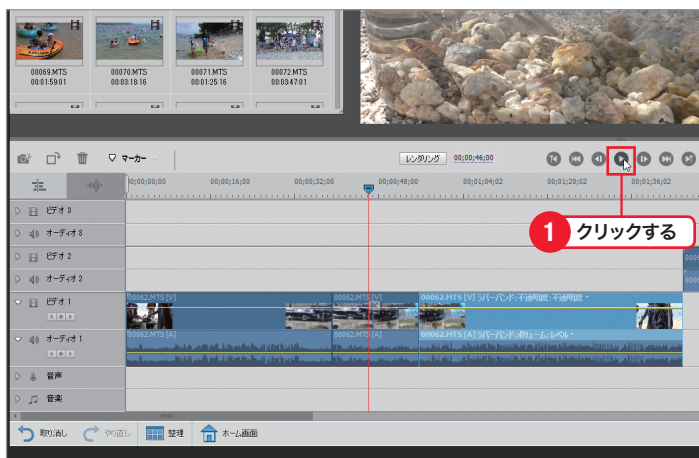


2 クリップを再生する

＜再生／一時停止＞をクリックすると(1)、クリップの先頭から再生されます。

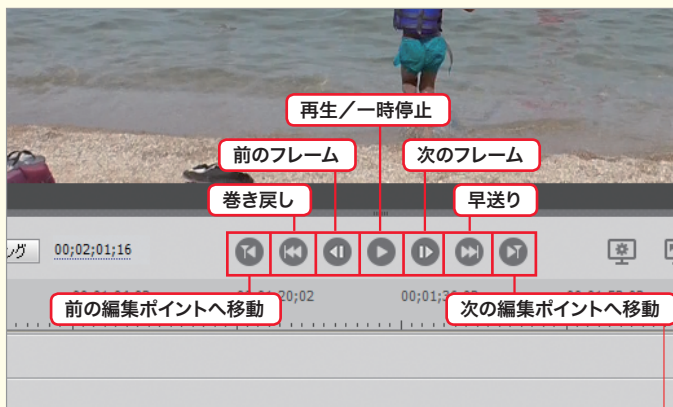
Hint フルスクリーン再生するには？

画面いっぱいのサイズで再生するには、画面右上の＜フルスクリーンで再生＞をクリックします。



Memo 再生コントロールの見方

再生コントロールの各種ボタンの名称は、右の通りです。



第3章

クリップの基本編集と切り替え効果

クリップを別のトラックに追加する

覚えておきたいキーワード

エキスパートビュー

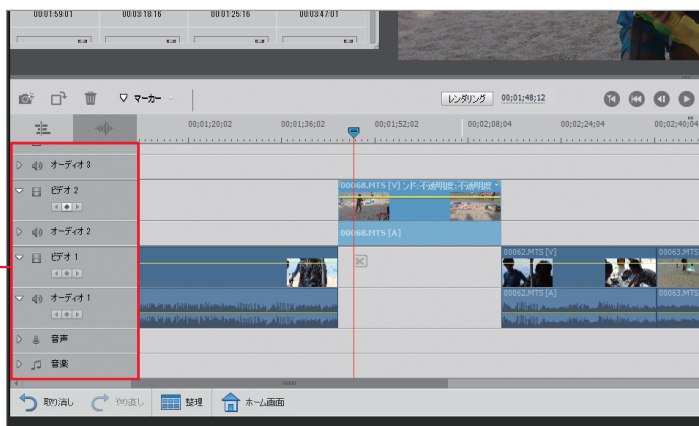
トラック

トラックの追加

エキスパートビューでの操作方法の大きな特徴の1つは、複数のトラックを使った編集ができることです。これにより、トラックごとに動画を切り替えるなど、より高度な編集作業が可能になります。

1 トラックとは？

トラックとは、動画や音声のクリップを配置するレーンのことです。各クリップを別トラックに分けて編集することで、画面を切り替えるタイミングを調整したり、合成したりする際に使用します。

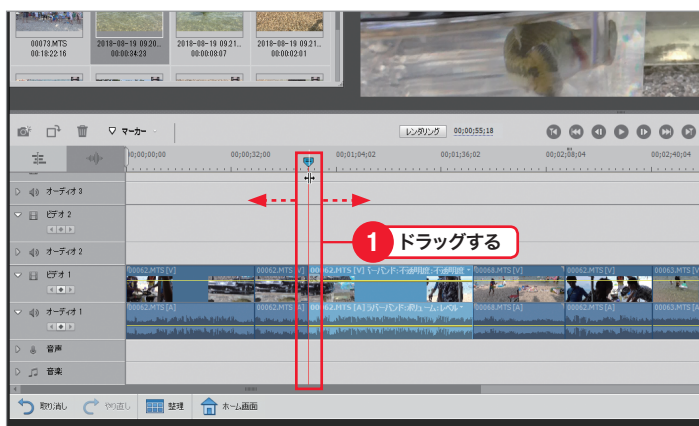


トラック

2 クリップを別のトラックに追加する

1 クリップの開始位置を決定する

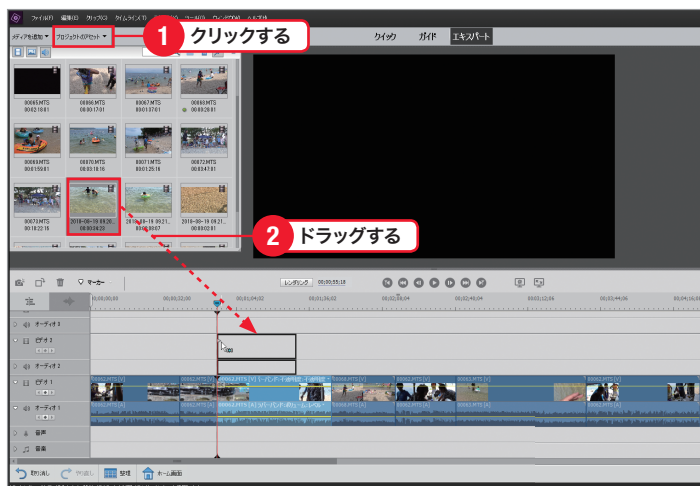
あらかじめ映像を切り替えたい位置に時間インジケータをドラッグします(①)。タイムライン上にクリップが配置されていない場合は、P.50を参照し、クリップを配置しておきます。



1 ドラッグする

2 クリップをトラックに追加する

＜プロジェクトのアセット＞をクリックします (❶)。追加したいクリップを、別のトラックの時間インジケーターの位置へドラッグします (❷)。



3 再生して確認する

＜再生＞をクリックして (❶)、下層トラックに配置されたクリップが隠れ、動画が切り替わるのを確認します。



Stepup どういう場面で複数トラックを使うの？

複数トラックを使うことで、上層トラックの位置調整が楽にできます。また、タイトルや、背景が透明なイラストなどを配置して下層レイヤーに合成する際にも使用します。



Hint トラックを追加するには？

トラックの数が足りなくなった場合は、追加することができます。＜タイムライン＞メニューから＜トラックの追加＞をクリックします。＜トラックの追加＞画面で、追加したいトラックの数と階層を指定し、＜OK＞をクリックするとトラックを追加できます (❶)。

